

リハビリテーション部門

人材育成と研修プログラム

【初期研修対象】

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

(令和3年4月1日採用予定)

目標



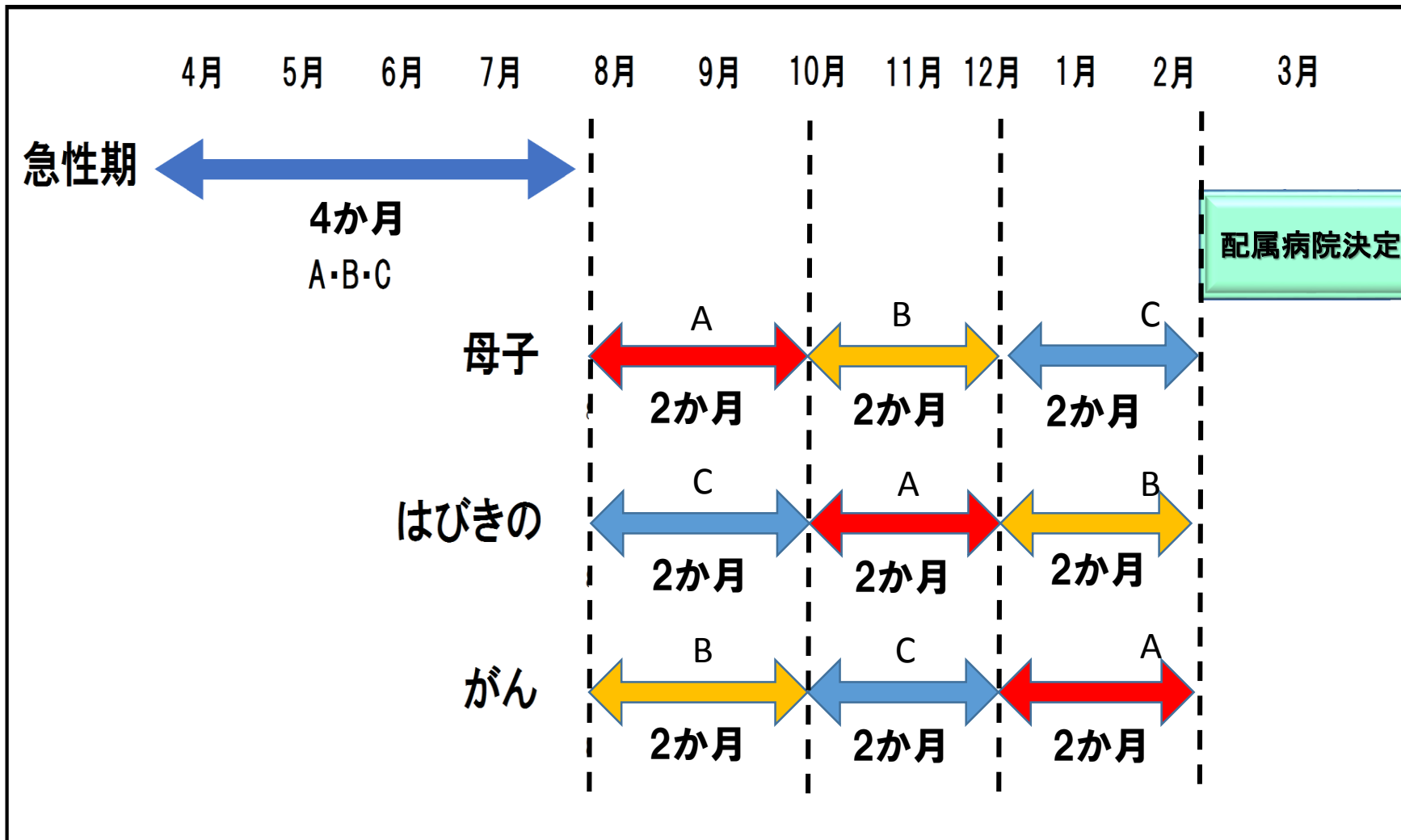
- 人材育成に関する、統一された方針や目標を策定する
- 機構リハを名実ともに全国レベルへ押し上げる
- 5年後、10年後に優秀な人材輩出を目指す

| 卒後 | 項目 |
|-------|------|
| 1・2年目 | 初期研修 |
| 3～5年目 | 専門研修 |
| 6年目以降 | 人事交流 |

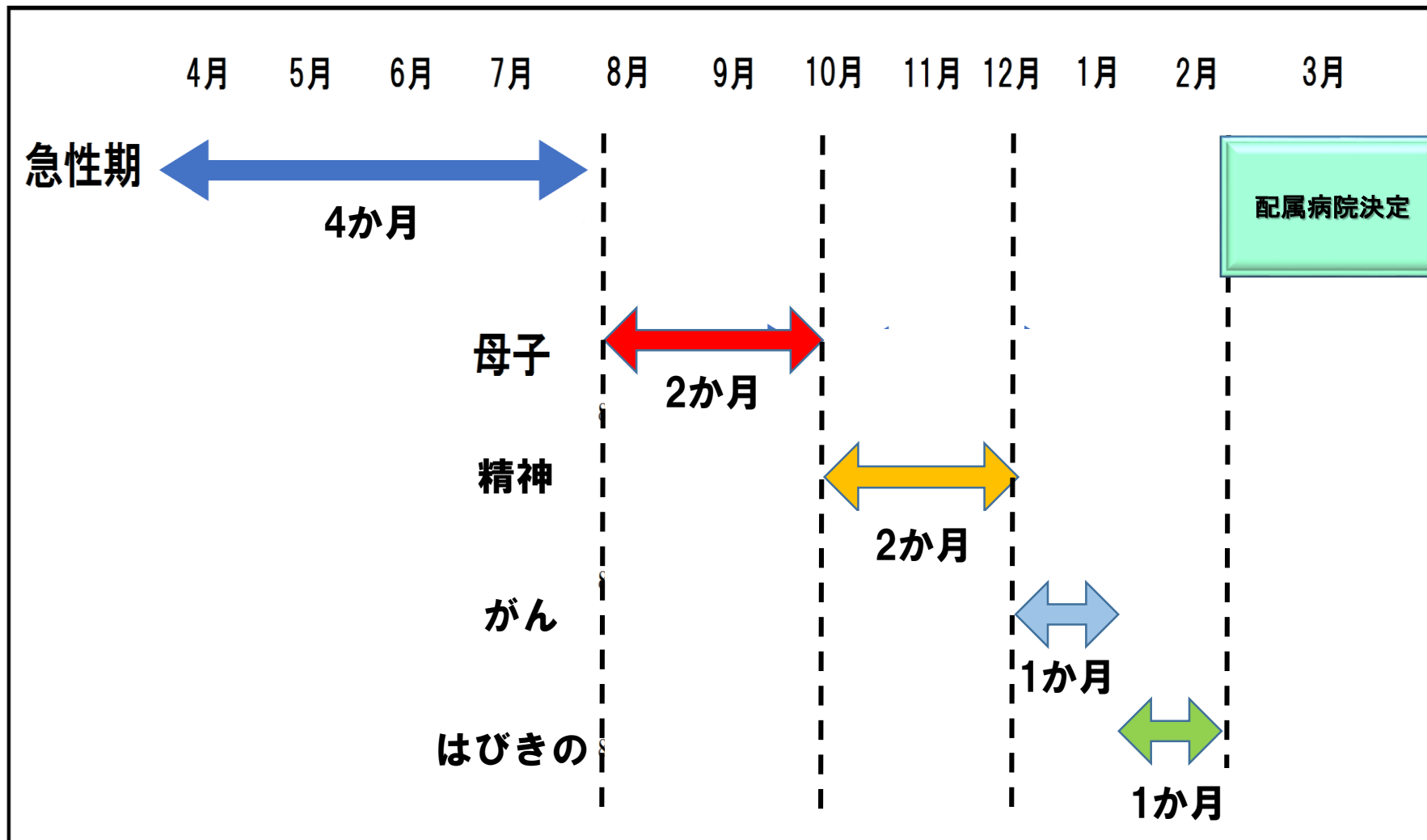
初期研修の目的

- 理学療法士・言語聴覚士は配置のある4センター、作業療法士は配置のある5センターのリハビリテーションを経験し、幅広い知識や技能の習得を図り、専門職として望ましい品格を身につけ、指導の下に臨床実践ができること
- 機構として採用、研修終了後に希望・態度・評価によって配属先を決めることで、機構の一員として、5病院の組織横断的な人事交流の活性化につなげること

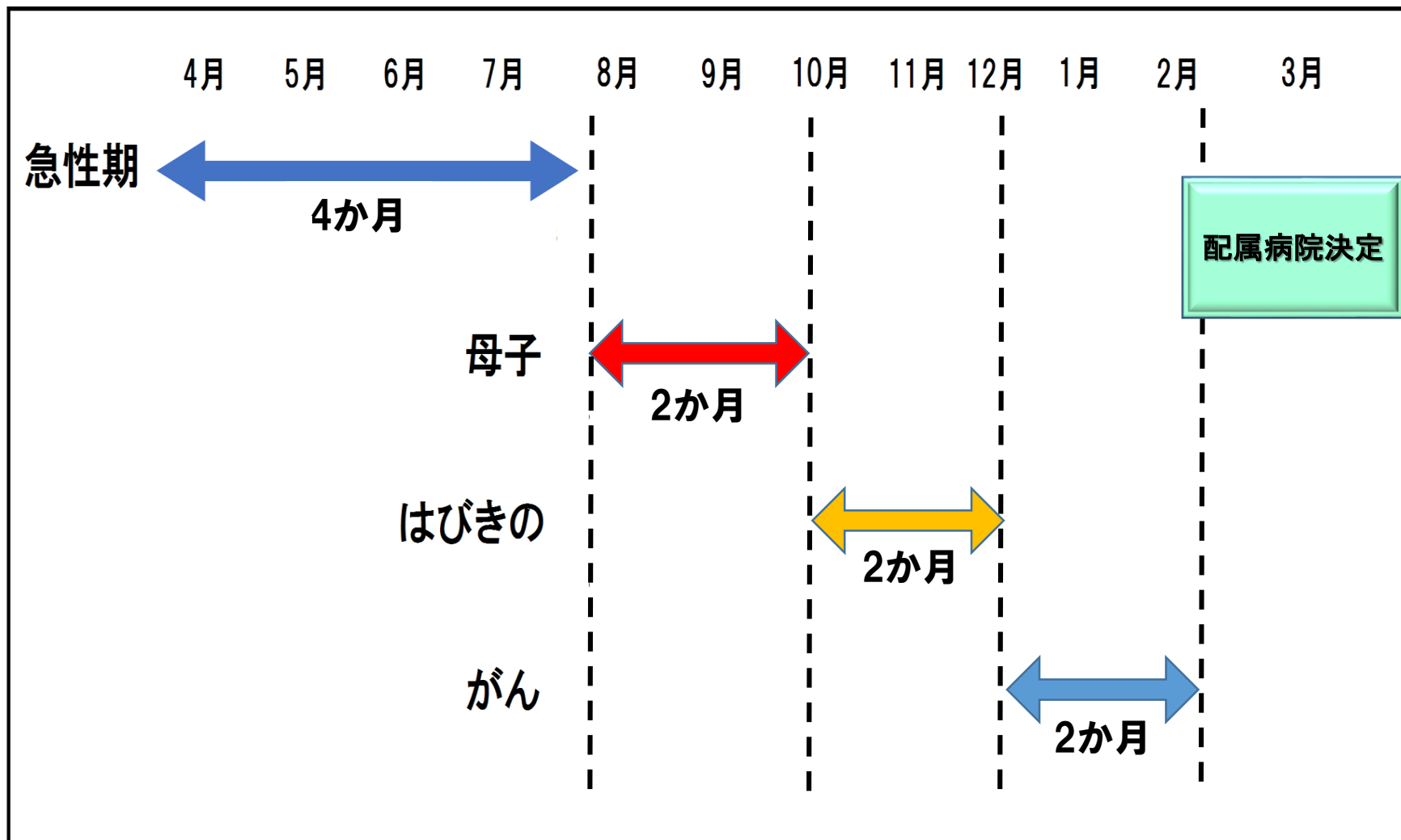
理学療法士 初期研修(採用1年目): ローテーション予定



作業療法士 初期研修(採用1年目): ローテーション予定



言語聴覚士 初期研修(採用1年目): ローテーション予定



キャリアアップ プログラム

| | 1年目 |
|--------|---------------------------------|
| 到達目標 | 基本的な知識・技術の習得 |
| | 基本的な治療を指導者のもとで実施できる |
| | 大阪府士学会での新人発表・症例報告での発表 |
| 実務基礎能力 | 各センターでのリハビリテーション概略 |
| | リハビリテーション室の管理(感染、医療安全など) |
| | リハビリテーション関連書類の書き方 |
| | 電子カルテ使用方法 |
| | コスト算定方法 |
| | 治療機器使用方法 |
| 臨床実践能力 | 理学療法・作業療法・言語聴覚療法の見学 |
| | 指導のもとで理学療法・作業療法・言語聴覚療法の模倣・実施 |
| | 多職種カンファレンス参加 |
| 自己啓発 | 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士協会の新人教育プログラム受講 |
| | リハビリテーションカンファレンスでの症例発表 |
| | リハビリテーション科の新人症例検討会での発表 |
| 研究発表 | 大阪府士協会での新人発表・症例報告 |

段階的到達目標

| キャリア ステージ | 経験年数 | 目標値 |
|--------------|------|--|
| ステージ Ⅰ | 1～2年 | ・指導を受けながらのリハビリテーションの実践 ・組織人・専門職業人としての自覚・責任 |
| ステージ Ⅱ | 3～4年 | ・自立したリハビリテーションの実践 ・新人・学生教育への関わり |
| ステージ Ⅲ | 5-6年 | ・創意工夫したリハビリテーションの実践 ・研究活動の積極的な取り組み ・新人プリセプター(マンツーマン指導) |
| ステージ Ⅳ | 7-8年 | ・チームマネジメント ・スタッフ育成、新人チューター(助言や補佐) ・学生SV |
| ステージ Ⅴ | 9年以上 | ・キャリアステージⅡに加え、リーダー(主任)として部署 をとりまとめ、総括主査や技師長を補佐 ・学生や後輩に対し高いレベルの指導が出来る |

大阪急性期・総合医療センター

初期研修開始にあたり、**接遇、医療安全、感染対策、電子カルテ操作、画像・各種医療データ理解、評価方法**等セラピストとしての基本事項について指導を行うとともに、**脳血管障害疾患・運動器疾患・脊髄損傷などリハビリテーションの基礎的な疾患を担当**。また**高度急性期リハビリテーション介入**についての知見を広め、各急性期チーム指導者と共に体験する。
高度急性期・急性期から回復期までの一貫したリハビリテーション医療・障がい者リハビリテーションを学ぶ。

| 症例担当：研修期間終了時まで担当 | 高度急性期症例介入体験 |
|--|---|
| <p data-bbox="665 668 1038 793">最終一人で治療・評価がおこなえる</p> <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="319 715 872 839">・回復期病棟症例 (脳血管障害、骨折等)<li data-bbox="319 868 872 992">・障がい者病棟症例 (脊髄損傷、頭部外傷等) | <ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="1058 686 1431 729">・ TCU・救急チーム<li data-bbox="1058 758 1524 801">・ ICU・CCU・心臓チーム<li data-bbox="1058 829 1328 872">・ SCUチーム<li data-bbox="1058 901 1524 943">・ 整形・呼吸器等チーム <p data-bbox="1114 986 1701 1029">※各チーム期間を定めローテーション</p> |



大阪はびきの医療センター

慢性閉塞性肺疾患（COPD）や間質性肺炎などの

呼吸器疾患患者の慢性安定期のリハビリテーション

- ・呼吸生理に基づいた病態の理解
- ・労作時の評価や酸素流量の調整、在宅酸素療法の導入
- ・個々に応じた運動処方や動作要領、

日常生活動作の指導

慢性呼吸器疾患の症例を通して治療の流れを理解



大阪精神医療センター

精神科作業療法を理解する。

急性期から回復期、維持期までを縦断的に関与
子供から高齢者まで幅広い対象者

[統合失調症・双極性障害・発達障害・依存症・認知症]

多職種チーム医療の作業療法士の役割を理解する。

デイケアセンターや訪問看護などの地域生活支援
依存症の認知行動療法



大阪国際がんセンター

がんのリハビリテーションを進めるうえで、全身状態、進行度、治療経過について把握し、リスク管理を行うことは重要である。

機能回復を目的とする回復的リハだけでなく、機能障害の予防（予防的リハ）やセルフケア能力の向上（維持的リハ）、終末期の症状緩和（緩和的リハ）にも力を注いでいる。



骨転移



骨軟部腫瘍



リンパ浮腫

患者の思いを
受け止め、寄り添う
がんリハ教育

大阪母子医療センター

・リハビリテーションの対象はNICUの小さなあかちゃんから児童までと年齢や疾患は多種多様である。

低出生体重児・脳障害・整形外科疾患・難病・染色体異常・小児がん・心疾患など
急性期から慢性期まで

小児リハビリテーションで重要なのは

- ① **発達**を考慮した上での実施
- ② **養育者**であるご両親や祖父母・兄弟と**相互理解を深め援助**すること
- ③ **家庭環境**の把握

